

# 感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

平成 30 年  
11 月号

## 東京都内の感染症流行情報

伝染性紅斑は比較的高いレベルが続いています。  
感染性胃腸炎、手足口病は、一部の地域で報告数が高くなっています。

## 感染症のお知らせ

### インフルエンザを予防しましょう。

毎年、冬になると季節性インフルエンザが流行します。インフルエンザは普通のかぜと違い、突然に高熱、筋肉や関節の痛み、頭痛や倦怠感などの症状が現れ、重くなると肺炎や脳炎などの合併症を引き起こします。高齢者や乳幼児、持病のある人などは合併症で亡くなることもあります。

#### <予防のポイント>

#### 1. 予防接種

季節性インフルエンザの予防接種は、例年 10 月頃から開始になります。接種を受けることで、もしインフルエンザにかかったとしても、重症化するのを防ぐことができます。インフルエンザに対する予防効果は、接種後およそ 2 週間で現れ、その効果は 5 か月間ほど続くとされています。日本では毎年 12 月から 3 月にかけてインフルエンザが流行するので、12 月中旬までに接種を行うことが望ましいとされています。

10 月 1 日から、高齢者のインフルエンザ定期予防接種が始まりました。65 歳以上の方には、9 月下旬にインフルエンザ予防接種予診票をお送りしています。高齢者インフルエンザ定期予防接種の実施期間は、平成 30 年 10 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日までとなっています。

#### 2. 手洗い

手洗いは、個人衛生の基本です。外から帰ったときなど、こまめに手を洗いましょう。また、咳やくしゃみを手でおおったときにも洗いましょう。

流水で手を洗えないとき、手指にすり込むタイプの消毒用アルコール製剤が有効です。しかし、手に目で見えるような汚れがある場合は消毒効果が低下するため、その場合は流水・石鹸での手洗いを行いましょう。

#### 3. 咳エチケット

咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて、他の人に直接飛まつがかからないようにしましょう。

## 風しんの報告数が増えています。

### <風しんの流行状況について>

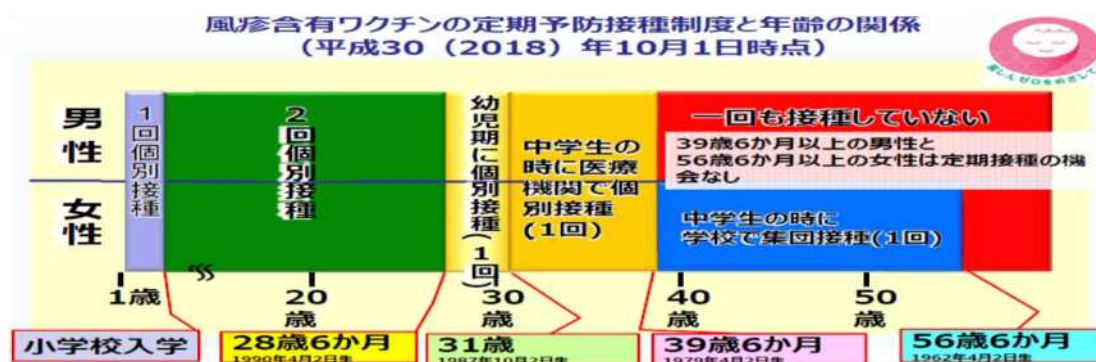
本年7月以降、30歳から50歳代の男性を中心に風しんの報告数が増えています。

昨年の風しん報告数は都内で22件、全国は93件でしたが、本年は10月28日までに、都内604件、全国では1,692件報告されています

### <先天性風しん症候群を防ぐために>

妊娠20週頃までの女性が風しんにかかると、眼、耳、心臓に障害をもった子ども（先天性風疹症候群）が生まれることがあります。先天性風しん候群を防ぐためには、妊婦への感染を防止することが重要です。妊娠中は風しんの予防接種は受けられず、受けた後は2か月間妊娠を避ける必要があるため、女性は妊娠前に2回の風しん予防接種を受けておくこと、妊婦の周囲の者が予防接種を受けることが重要です。

また、30～50歳代の男性で風しんにかかったことがなく、風しんの予防接種を受けていないか、あるいは接種歴が不明の場合は、早めに予防接種を受けておくことがすすめられます。



### <11月1日より、大人の風しん抗体検査と予防接種費用助成の対象者を一部変更しました>

#### 【助成対象者】

対象者は19歳以上で、「妊娠を予定または希望している女性」と「その同居者」、「妊婦の同居者」です。（妊婦は対象外です。）

同居者とは、妊娠を予定または希望している女性または妊婦と住民票上の住所が同じ方

#### 【方法】

まず区へ申し込み、風しん抗体検査受診票等の発行を受けてください。（事後申込み不可）  
区が発行した受診票により、風しん抗体検査（無料）を受けていただき、抗体価が低いと判断されたら、ワクチン接種ができます。

妊婦健診等で風しん抗体価が低いことが証明できる方は、直接ワクチン接種ができます。

- ・接種するワクチンは、麻しんの免疫もつくMR（麻しん・風しん混合）ワクチンの接種をお勧めしています。（風しん単独ワクチンも選択することができます。）
- ・過去にこの制度を利用して抗体検査やワクチン接種を受けたことがある方、風しんの予防接種を2回受けたことがある方、風しんにかかったことがある方は対象外となります。

【費用】 無料です。ただし、墨田区内予防接種実施医療機関で接種する場合があります。

【申し込み・お問い合わせ】 墨田区保健所保健予防課 電話：03-5608-6191

このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。